



彩の国ビジネスアリーナ 2016

今年は年明けの1月からどんどんチャレンジして行こうと1月27日～28日に埼玉スーパーアリーナで開催されました彩の国ビジネスアリーナ 2016に出展致しました。当社がこの展示会に出展するのは2度目となります。最初はずいぶん昔の2004年でした。実に12年ぶりの出展となりまして、何をどうしようかと昔の写真を見ながらの参加でした。今回はスプレー缶・使い捨てライター無害化処理を前面にアピールすることでした。この無害化処理は自治体様のみの取り扱いとなるので結果的には今回はあまりマッチしなかったかなと反省しております。

もし次回に出ることがあれば、大きく「スクラップ買います」と書いたものを貼りだそうと思います。嬉しかったのは1件だけですが自治体様に来ていただけたことでしょうか。何分にも機械そのものを会場に持ち込めるサイズでもないのでものごとにご説明をしようかと考えた末、動画で見て頂くのが一番だと思い、ビデオカメラで一通り撮影いたしました。もちろんそのままでは見れたものではないので頭を悩ませながら動画を編集してなんとか見れる物をつくりました。こういう時は本当にセンスがものをいいます。担当者には残念ながらそれほどセンスがないようで、徐々にレベルを上げていきたいと思っております。当社のホームページでは載せることが出来ないのも、ご希望の自治体様には直接伺いして見て頂こうと考えております。

リサイクル問題を考える

昨年6月より下落した鉄屑市況、非鉄関係も原油市場に連動するかのようには下落しております。鉄の方の下落は単純に中国の過剰生産がもたらしたものだと言えますが、非鉄については需要と供給のバランスだけではなく、投機的な資金によっても大きく左右されます。アメリカの雇用統計が落ちたから投資家が手放したために下げたり、中国のGDPが7%を下回ったり(実際は闇の中ですが)、すればまた売られたりと世界のあちらこちらで発表があるたびに動いております。株の売買と同じような形と想像していただけたらわかり易いと思います。

原油もWTIの価格を見ると100ドル/バレルだったものが現在は30ドル/バレルまで急落しました。原油から精製された物がメタルを溶かす燃料だったりするので製錬コストも下がり価格に影響を与えます。

このように資源価格が下がるとリサイクルにも影響が大きく出ます。リサイクルするにはコストがかかります。売買であれば最終的に売れる価格からコストを引いて買取金額が計算できますが、それがマイナスとなれば処分料という事になります。こうなるとリサイクルする意欲が下がることにつながってきます。わかり易い例でいけば以前廃プラスチックはゴミとして扱っておりましたが、中国がこれを購入し、リサイクルすることで商品市場が生まれました。このプラスチックももとは原油から作られたものです。再生プラスチック市場はこの原油と連動して上がり下がりを繰り返してきました。中国国内の景気の下落と原油の値下がりとは多大な影響を与え、徐々にリサイクルルートを減らすこととなります。そうなるとまた廃プラとして廃棄物に戻るかもしれません。いつの世もリサイクル材はバージン材と天秤の関係で上がったたり下がったりを繰り返しながら歩んできた商品なのです。